

# 国際会計論特講

選択 2単位

山矢 和輝

## 1. 授業の概要(ねらい)

国際会計基準(IFRS)は世界120カ国以上で採用され、日本においても200社を超える上場企業において採用されるようになっています。会計の目的は、投資家や債権者、経営者等に対して意思決定に有用な情報を提供することであり、グローバルな経営環境において資金調達と企業活動を行う上での共通言語として、IFRSを学ぶ意義は大きくなっています。

IFRSでは、原則主義・公正価値評価・資産負債アプローチ等、日本基準とは異なる概念フレームワークに基づき、個々の会計基準が設定されています。そのため実務的には、IFRSと日本基準の差異を理解し、これらの差異を調整仕訳として計上すると共に、日本基準では求められない会計情報を開示することが求められます。また、今日では会計情報の大部分が情報システムを用いて生成されるようになっており、これらの差異に基づき、会計情報の生成と加工に関する情報システムをIFRSに対応させる必要があります。講義では、これらの実務的な課題についてもディスカッションしていきたいと思います。

## 2. 授業の到達目標

- ・IFRSの基本的な概念とその背景を理解する。
- ・日本基準とIFRSの差異を理解する。
- ・IFRS導入による実務への影響を検討できる。

## 3. 成績評価の方法および基準

出席70%、レポート30%で評価します。

## 4. 教科書・参考文献

教科書

橋本尚、山田善隆 『IFRS会計学基本テキスト(第6版)』 中央経済社

参考文献

補足資料として、参考資料を配布します。

## 5. 準備学修の内容

次の履修範囲について、テキストもしくは配布資料を予習してください。

## 6. その他履修上の注意事項

第14回のみLMSによるオンデマンド型の講義となります。(第1回は対面講義です)

## 7. 授業内容

- |        |                        |
|--------|------------------------|
| 【第1回】  | ガイダンス、IFRSの学び方         |
| 【第2回】  | IFRSの基礎知識、概念フレームワーク    |
| 【第3回】  | 収益認識                   |
| 【第4回】  | 棚卸資産                   |
| 【第5回】  | 有形固定資産、無形資産            |
| 【第6回】  | 減損                     |
| 【第7回】  | 従業員給付                  |
| 【第8回】  | 金融商品①                  |
| 【第9回】  | 金融商品②                  |
| 【第10回】 | 法人所得税                  |
| 【第11回】 | 企業結合                   |
| 【第12回】 | 連結・持分法                 |
| 【第13回】 | その他の論点①                |
| 【第14回】 | その他の論点② [LMSオンデマンド型講義] |
| 【第15回】 | 総まとめ、講義内レポート           |